

2023 年度 環境経営レポート

－2023 年6月～2024 年5月－



新栄設備工業株式会社

2024 年 8 月 1 日

環境経営方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、建設工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって積極的に、環境保全活動に取り組みます。

我が社は同族会社の(有)新栄設備衛生管理センターがあります。浄化槽管理士の専門分野を生かし水質汚染の問題に力を入れ、生き物の溢れる河川を目指します！！

＜環境保全への行動指針＞

1. 具体的に次の事に取り組みます。

- ★電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ★建設工事資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ★水道水の節水
- ★地域での環境活動への積極的な参加
- ★合併浄化槽設置への推進

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日 2008年12月15日

改訂日 2021年 6月 1日

新栄設備工業株式会社

代表取締役 **園田 隼人**

I 登録事業所の概要

1. 事業所名及び代表者名

新栄設備工業株式会社

代表取締役 園田 隼人

2. 所在地（認証・登録の適用事業所）

本社:〒891-3101 鹿児島県西之表市西之表7524

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：横濱 透子、環境事務局：新村 大地

連絡先：TEL 0997-22-0692 FAX 0997-22-2266

E-mail shinei@po4.synapse.ne.jp

4. 事業内容（認証・登録の範囲）

建設業（管工事・土木工事）

5. 法人設立 昭和42年5月

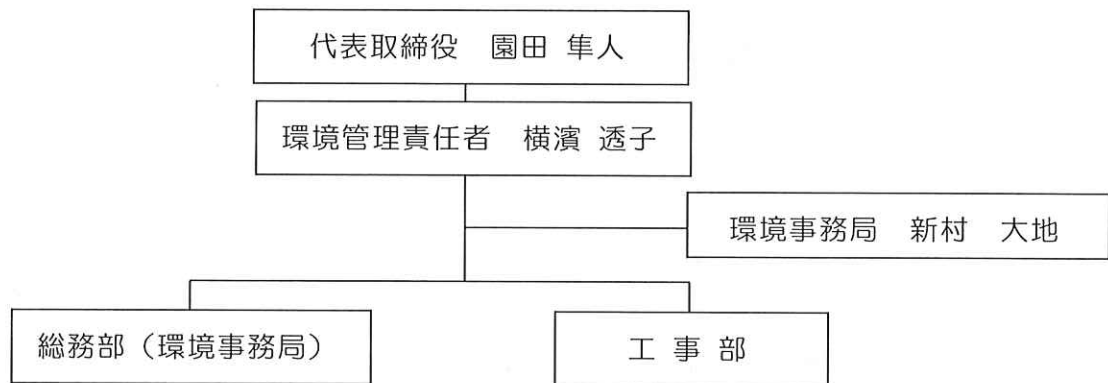
6. 事業規模

資本金 35百万円

従業員 4名

売上高 70百万円（2023年6月～2024年5月）

7. 組織



8. 事業許可の内容

○建設業関係

鹿児島県知事許可（般-29）第451号

〔許可の有効期間：令和4年4月2日～令和9年4月1日〕

〔建設業の種類：土木、とび・土工、石、管、舗装、しゅんせつ、水道施設、消防施設工事業〕

○廃棄物収集運搬業関係

産業廃棄物収集運搬業許可証（鹿児島県）許可番号 04602071926号

〔許可年月日：令和3年3月13日 許可有効年月日：令和8年3月12日〕

〔産業廃棄物収集運搬事業の範囲〕

- ・廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃えがら、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず 以上11種類（積替え又は保管を除く）

9. 施設等の状況

- ・運搬車：4トンクレーン 1台、2トントラック 1台
- ・その他施設：パワーショベル 1台

10. 収集・運搬量 自社工事分のみ 4.6t（2023年度実績）

Ⅱ 主な環境負荷の実績

過去の環境負荷の実績把握は次の通りです。

項 目		単 位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素 排出量	電力※	kWh	5,977	5,901	5,478	3,733
		kg-CO ₂	2,211	2,183	2,027	1,381
	燃料	ℓ	1,884	1,887	1,887	1,006
		kg-CO ₂	4,593	4,558	4,558	2,427
産業廃棄物 排出量	一般	kg	227	216	216	212
	産業	t	32	8	8	4.6
産業廃棄物 収集運搬量	受託分	t	0	0	0	0
	自社分	t	32	8	8	4.6
水使用量（排水量）		m ³	122	122	122	141

※電力 CO₂ 排出量換算値は九州電力 2019 年度調整後排出係数 0.370 kg-CO₂/kWh に遡って算出

Ⅲ 3 カ年環境目標と 2023 年度実績

2020～2022 年度の 3 カ年環境目標と 2023 年度の実績についての評価を行う。

当社の業務は、管・土木工事が主であり、その業務に付随して収集運搬業がある。二酸化炭素排出量の削減では車両・重機・機械等の運転・作業の効率化を図ることが大きな成果につながる。

項 目	単 位	基準値 2020～ 2022 の平均値	2023 年度			2024 年度	2025 年度
			2023/6～2024/5			2024/6～ 2025/5	2025/6～ 2026/5
			目標値	実績値	○達成 ×未達	目標値	目標値
電力削減※	kWh	6,004	5,884	3,733	○	3,700	3,600
	kg-CO ₂	2,221	2,177 △1.9%	1,381 △37.8%		1,369 △38%	1,332 △40%
自動車燃料削減 (軽油・ガソリン)	ℓ	1,916	1,878	1,006	○	1,000	950
	kg-CO ₂	4,632	4,539 △2%	2,427 △47.6%		2,411 △47.9%	2,297 △50%
一般廃棄物削減	kg	218	214 △1.8%	212 △2.7%	○	211 △3.2%	211 △3.2%
産業廃棄物削減	%	リサイクル率	資源/排出量 100%	4.6/4.6t 100%	○	100%	100%
水道水削減	m ³	123	121 △1.6%	141 14.6%	×	119 △3.2%	118 △4%
地域道路清掃	回	道路草払他 11	12 109%	12 109%	○	12 109%	12 109%
環境配慮取組 (合併浄化槽切替)	件	10	10 100%	11 110%	○	10 100%	10 100%

※電力 CO₂ 排出量換算値は九州電力 2019 年度調整後排出係数 0.370 kg-CO₂/kWh に遡って算出

Ⅳ 2023 年度の主要な環境経営計画内容と次年度計画

経営計画内容	実施	2024 年度経営計画
【電力削減】 ・ 事務所・休憩室の冷暖房の温度の適正管理 ・ グリーンカーテンの実施 ・ LED に更新 ・ 使用していないパソコン機器の電源を切る ・ 節電の表示を貼る	○ ○ ◎ ○ ○	継続 継続 継続 継続 継続
【自動車燃料削減】 ・ 燃費管理の推進 ・ アイドリングストップ（エコドライブの徹底） ・ 車両点検の実施（始業前） ・ 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をしない ・ 制限速度、積載量の順守	○ ○ ○ ○ ○	継続 継続 継続 継続 継続
【一般廃棄物削減】 ・ コピー用紙の両面使用・封筒の再利用徹底、ミスコピー削減 ・ 詰め替え可能な物品の購入 ・ ペーパーレス化でデータ保存 ・ 新聞紙・段ボール類の有効活用（再資源化施設への持込）	○ ○ ○ ○	継続 継続 継続（電子データ整理） 継続
【産業廃棄物削減】 ・ リサイクル率 100%の維持 ・ 産廃選別の徹底（廃プラ、コンクリート・アスコン）	○ ○	継続 継続
【水道水削減】 ・ 雨水の活用 ・ 節水の呼びかけ・周知 ・ 節水の表示を貼る ・ 車両の洗車時は、水を出しっぱなしにしない ・ 手洗い等水使用時は適度な水量を心がける	○ ○ ○ ○ ○	継続 継続 古い表示を貼りかえる 継続 継続
【地域道路清掃】 ・ 上部団体の県道・河川の清掃活動に積極的に参加する ・ 本社事務所周辺や工事終了後の清掃活動を行う	○ ○	継続 継続
【環境配慮取り組み】 ・ 顧客への節水型トイレへ取替の提案 ・ 顧客への単独浄化槽から合併浄化槽へ切替の提案（11 件済） ・ 上記パンフレット配布	○ ○ ○	継続 継続 継続

【活動事例】

～LED に交換～



～緑地公園トイレ清掃～



～合併浄化槽への入替工事～



～地域ごみステーション網掛～



V 環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りである。

法 規 名	該当する項目
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬 (許可・委託契約・マニフェスト・実績報告・表示等)
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル及びリサイクル品の活用
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料金支払い
家電リサイクル法	洗濯機・テレビ・冷蔵庫のリサイクル
浄化槽法	浄化槽の定期保守点検、清掃、水質検査等
騒音規制法	特定建設作業時届出
振動規制法	特定建設作業時届出

環境関連法規制等の順守状況を定期評価した結果、環境法規制等の逸脱はありません。

また、過去3年間にわたって法的違反や訴訟、苦情もありません。(2024年6月末現在)

VI 代表者による全体の評価と見直し・指示

23年度は電灯をLEDに交換。また使用車両の削減により大幅にCO₂が大幅に削減できた。

新しい従業員が増えて、前いた人から引き継ぐ形で入ったが、まだまだ分からないことも多いが、今いる人たちと協力して取り組み、分からないことがあったときに周りに聞くようにする

以 上